

7月11日付日本経済新聞記事に関する 問題と対応について

去る7月11日の日本経済新聞朝刊一面の記事にて、「マイクロソフト社が中心となり医療情報システムに関する標準化を推進すること」、「普及促進団体を年内に設立、大手5、6社に呼びかけること」、「これにより医療情報システムの導入費用が最大5割引き下げられること」などが報道されました。

[同記事のサマ리를掲載した日経ネット記事\(クリックしてください\)](#)
[マイクロソフト社による本件の最初のプレスリリース\(クリックしてください\)](#)

これらの内容は従来より標準化を進めてきた全ての活動を侮辱するものであり、また、これから病院情報システムを導入しようとする現場に混乱を与えるものです。7月13日に行われたHL7セミナーの冒頭にて、同社の本件担当である、執行役常務 大井川 和彦氏に説明を求め、以下の回答を得ましたので、広くお知らせします。

2007/7/13

日本HL7協会関係者各位

7月11日付 日経新聞朝刊の記事について、皆様方に多大なご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

当該記事にあります、下記内容については、弊社が意図したものではありませんことを確約させていただきます。

1. 日本国内の医療機関向け情報システムの標準化、あるいは医療向けソフトをつなぐ基本的ルールを策定
2. 医療情報システムの導入費用を最大5割引き下げることができる

弊社としましては、日本HL7協会の活動を始め、各種医療情報の標準化活動に深く敬意を表すものであり、引き続き協会活動に参加させていただきたく伏してお願い申し上げます。

今後の対応についても、今回の記事に関する相談窓口を設置するとともに、関係各方面への説明等に最大限の努力をしていく所存です。

マイクロソフト株式会社
執行役 常務 大井川 和彦

(掲載日 2007年7月14日)

2007年7月20日追記

日本医療情報学会でも専用ページを設けてフォローを続けていますので、お知らせします。同学会から質問状を出し、その回答も掲載されています。また、相談窓口の開設についても案内が出ています。

<http://www.jami.jp/MS/index.html>

2007年7月24日追記

7月19日にマイクロソフト社から事務局宛に、上記プレスリリースを変更したこ

との連絡を頂きました。新しいプレスリリースは次のURLです。以下の問い合わせ窓口の案内も掲載されてます。(上記「相談窓口」ですので、必要に応じてご利用下さい。)

<http://www.microsoft.com/japan/presspass/detail.aspx?newsid=3134>

マイクロソフト カスタマーインフォメーションセンター

TEL : 0120-41-6755

担当: マイクロソフト株式会社 公共インダストリー統括本部 緒方、清水

2007年7月29日追記

7月19日の日経メディカルオンラインに本件に関する次の記事が掲載されました。

<http://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/mem/pub/report/200707/503779.html>

※お願い: 日本HL7協会に関する記事の掲載時には広報担当webmaster@hl7.jpにも教えて頂けると幸いです。

以上